

患者総合支援センター たより

発行部署：患者支援課
発行責任者：患者支援課長
連絡先：06-6645-2857

西日本初導入

特別号

放射線治療最新機器 MRリニアックの導入

来年2022年3月より
運用開始予定

「市大病院で治療してよかった・・・」と心から感じていただけるよう、高磁場MRIとリニアックを融合した高精度放射線治療システム「MRリニアック」を**来年2022年3月より**導入します。

この「MRリニアック」は治療直前および照射中にもMRI画像を取得することができます。

さらに、MRI画像がとらえた腫瘍の形状や位置の変化に応じて、治療計画を即座に変更することができます。

これまでにない患者さん一人ひとりに合わせた精度の高い治療を実現していきます。



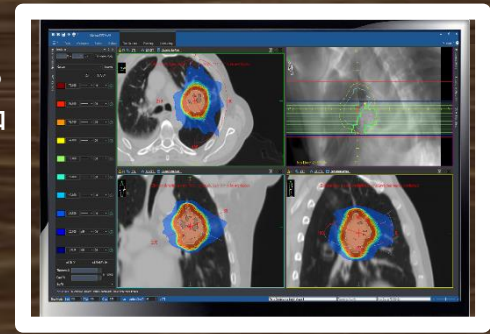
放射線治療 MRリニアック Q and A

Q1.MRリニアックの対象疾患や年齢制限があれば教えてください。

基本的にあらゆる臓器に発生する腫瘍(がん)に用いることができます。
一般的に年齢制限はありません。

Q2.来年3月導入の「MRリニアック」と通常「リニアック」はどこが違うのですか。

MRリニアックは照射直前、または照射しながらMR画像にて腫瘍を監視し、大きさ・形状・位置の変化へ即時に対応できます。呼吸や腸管の蠕動運動などによって腫瘍の位置や形状が治療途中で変化する場合、放射線の影響を受けやすい(副作用の出やすい)臓器が近傍にあるような場合、特に適しています。
ただし、MRI検査の受けられない方には使用できません。



Q3.費用はどのくらいですか。通常のリニアックと費用は異なるのでしょうか。

MRリニアックは新しい装置ですので、保険診療における費用はまだ決まっていません。
来年度の2022年3月の運用開始前にご案内します。

Q4.「MRリニアック」を受けるには入院が必要ですか？治療期間はどのくらいですか。

基本的には、これまでの放射線治療と同じです。治療期間は疾患によって異なりますが、放射線治療のみであれば、多くの場合、通院での加療が可能です。
ただし、薬物療法(化学療法)を併用する場合には入院が必要となることがあります。
通常のリニアックよりも腫瘍への高い精度と選択性が期待できることから、海外では1回あたりの照射量を大幅に増加させる試みが、様々な疾患で報告されています。
1回の量を安全に増やすことができれば、従来よりも治療期間を短縮できる可能性があります。

Q5.合併症があっても「MRリニアック」を受けることは可能でしょうか。

からだに優しい治療ですので、合併症や年齢によって手術や化学療法の受けられない方にも基本的には受けて頂くことが可能です。
ただし、心臓ペースメーカーを装着されている方など、通常MRI検査を受けられない方には、MRリニアックでの治療を受けて頂くことができません。
また、痛みなどにより長時間の静止が難しい方は予めご相談ください。

